

三田学園高等学校3年生保護者各位 令和元年11月28日

高校3年学年通信

〈Vol.9〉 高3学年担任団

ご挨拶

向寒の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、学年の教育活動にご理解とご協力をたまわり、厚くお礼申しあげます。

前回の通信は8月末でした。大変長らくご無沙汰してしまいました。

2学期に入り、一部の科目では激しく追い込む時期となりました。特に単位数の多い科目においては、内容を進めると同時に演習の力もつけねばならない。生徒も大変ですが、教師の側も準備が大変…何のことはない、数ヶ月、この学年通信をご無沙汰してしまった言い訳でございます。

あともう一つ、お詫び申し上げたいのは、9月の体育大会の後の、体育館でのイベント。大受けの生徒を尻目に、教員のネタは悲惨な結果となりました。せっかくお残りいただいた保護者の皆様、お見苦しいところをお見せして申し訳ありませんでした。ただ、生徒達には、逆に「準備の大切さ」を反面教師として示すことになったかと思えます。



最後の授業の週となりました

準備、準備に追われた身としましては、正直ホッとします。でも、同時に寂しさも感じます。

生徒達はどうなのでしょう。3年間、あるいは6年間の学校生活。人生の6分の1、あるいは3分の1という長い期間が終わろうとしている。でも、先の入試を考えると、センチメンタルになっているヒマもないというのが本音でしょう。

とはいえ、終わりをどう締めるかというのも大切なこと。余裕があれば、話してあげたいことはたくさんある。優しい生徒達ですから、きっと耳を傾けてくれると思います。最後の授業はどうだったか、ご家庭でもお聞き下さい（大滑りしてるかも）。



12月の私学面談、お世話になります

こちらから一方的に日時を指定しまして恐縮です。ご協力いただき、大変感謝しております。いよいよ「どの大学を受けるか」を具体的に決める面談となります（私大のみですが）。色々情報を集約し、今年度の入試動向の特徴を申し上げますと…。

★予想通り、史上最も「安定志向」の強い入試となる

- ① D・E判定を避け、可能性の高いところを選ぶ
- ② 「早く合格が欲しい！」推薦入試・AO入試の受験者が激増
- ③ 多くの科目を抱える受験生が、ドンドン減っていく

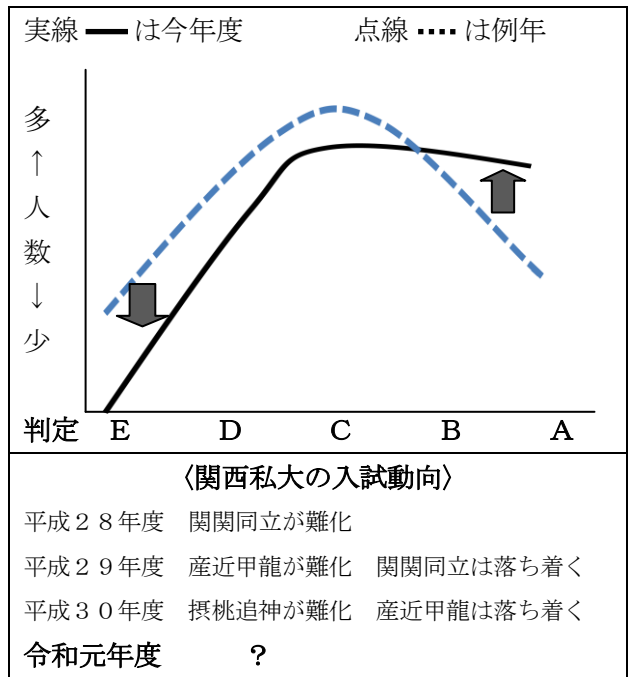
〈①について〉

右は、とある大学の志望者の数を、模試(9月ごろ)の判定をもとにグラフ化したものです。

左下の①の傾向を如実に示していることが、お分かりになると思います。

この大学でA、B判定が出ている生徒の受験者が増えている。普通なら1ランク上の大学を受験する者が、安定志向でこの大学に流れてくる。C、D、E判定の受験者が減っているのは、これも安定志向で、より可能性の高い1ランク下の大学に流れていく。

この数年、私大は過去に比べ、ずいぶん難化しました。しかし、傾向をみると、右のように、前年度難化した大学を避け、1ランク下(と受験生が思っている)大学が難化する、という状況が続いています。



〈②について〉

この状況の中で、「早く合格が欲しい」と思う気持ちはよくわかる。しかし、そう思う人間はたくさんおまして、特に推薦入試が大人気。すると、当然レベルが上がる。

「推薦入試で合格するには、1ランク上の力がある」昔から言われますが、今年はそれ以上かも。例えば、関西私大の推薦入試で人気なのは近畿大学ですが、「近大の推薦入試で合格できるのは、一般入試で神戸大・関関同立以上に合格出来る人」というくらいのレベルになっています。

よって、推薦入試に力を注ぐのは悪いことではないが(専願は特に)、レベルの高さを認識しておいてほしいのです。「もう、これしかない」という気持ちで全力投球されると危険です。

〈③について〉

特に文系では、5教科8科目(5-8型)と言われる受験型の人数が減っています。

理系においても、私大ならばもっと少ない科目数で受験が出来る。成績が伸び悩む中、科目を減らす選択を勇気を持って行うこともあるかと思います。

しかし、これも昔から言うことで「科目を1つ減らすと、レベルは1つ上がる」。

英・国のみで文系私大や、英語の配点が極端に少ない理系私大などもあるが、皆オーソドックスに受験するよりもレベルが上がる。「楽な道」というのは、どこにも無いものなのですね。

〈結論…たとえ厳しくても、強い気持ちで挑んでほしい〉

(①を見て) 私は9月に比べたら、もっと伸びてる。同じくらいの力の人がチャレンジを避けるなら、私は逃げない!



(②と③について) 推薦で通れば嬉しいけど、第一志望は先にある。5教科は大変だけど、頑張れば国公立も見えてくるはず。頑張る!

①「センター試験直前対策」について

日程：1月9日（木）・10日（金）・11日（土）・14日（火）

内容：次の各科目の講座を開く予定

英語・古文・漢文・理系化学・理系生物・公民（倫理政経を中心に）

- * 講座を開かない科目は、演習問題を上記の期間に配置しておくので、希望する生徒は教室で自習。質問があれば教師の所へ（待機しています）。
- * 参加は自由とします。事前の希望も取りません。
- * 具体的な時間割は、終業式までに生徒に示します。

夏期講習のような「多くの講座を開き、希望を募る」という形式にしない理由をお伝えします。

江戸初期の鎖国政策について、詳しい解説が欲しいのですが…

平安時代の土地制度に関する問題、ドンドン下さい！



科目によってはニーズが多様化。集団での講義では、効果が薄い。

この時期の生徒にとって必要なのは、「勉強・自習できる環境があること」「演習問題が豊富にあること」「気付いた時には質問が出来ること」の3つ。そのニーズに応えるには、集団で座らせて話を聞かせるよりも、勉強できる環境を整え、質問に応えられる体制をつくることを優先することにしました。講座を開く科目については、また内容の説明があるかと思いますが、必要に応じて参加してもらえたら、と思います。

② 3学期の登校日について

1月 8日（水） 始業式

* 9日～14日 センター直前対策〈参加自由〉

1月20日（月） 登校日（センター自己採点・卒業式の練習）

* 25日～27日 国公立2次面談〈希望する場合のみ 生徒のみも可〉

2月27日（木） 登校日（内容は下で説明）

2月29日（土） 卒業式

こちらも理由を説明させていただきます。

毎年、高3担当者から聞いておりました。「卒業式が、年々あわただしくなっている」と。

まず、1ヵ月半ぶりに登校するので、おびただしく配布物がある。

また、この時期にも後期入試などに向け、相談をせねばならない場合がある（これが年々増加）。

そして、今年は昨年までにない用件がある。「iPadの回収」です。絶対に忘れてもらったら困る。しかも、回収だけでなく、初期化してもらわないといけない。その説明もするとなると…。

卒業式は、せめてなごやかに、雰囲気を楽しんでもらいたい。その際に、細々したことで煩わしい思いをさせたくない。

というわけで、学校と協議の上、「できるかぎりの回収・配布を事前にすませる」ために、登校日を1日追加します。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

③ 卒業式の日について

この日は、どうか保護者の皆さまものんびりとわが子の卒業を祝っていただき、感慨に浸っていただけたらと思います。

さて、ご存知の方もおられると思いますが、毎年、卒業式の日には育友会の方を中心に「謝恩会」が開かれております。

本年度に関しましては、参加ご自由・会費ゼロ・飲み物食べ物持ち込み可の「懇親会」としていただくよう、学年からお願いしました。

卒業式の日には、どうしてもHRが長くなります。保護者の皆さまには、長々と生徒たちを待っていただくこととなります。その時間帯に食堂にお立ちよりいただき、思い出話に花を咲かせていただけたら幸いです。時間のある教員（特に柳田）も、輪に入らせていただきます。

また後日、育友会様よりご案内をいただきます。